

# 公民館報

# さかえ

第368号

令和8年1月1日発行

■発行  
栄村公民館  
〒389-2703  
長野県下水内郡栄村  
大字堺9214-1

■電話  
0269-87-2100

■編集  
栄村公民館報編集委員会

祝さかえ倶楽部スキー場30周年

## スキー場開発の思い出を語る

平成8年（1996年）12月20日に、さかえ倶楽部スキー場がオープンしてから30回目のシーズンを迎えました。そこで今回は当時スキー場開発に携わった元役場職員2名の方から当時の思い出を語っていただきます。

お一人は保坂順一さん（横倉）平成6年4月から企画財政課企画調整係、平成8年4月からは同課に新設されたスキー場開発室係長として用地交渉や許可、開発工事などにあたられました。もうお一人は村山俊郎さん（津南町宮野原）平成8年4月に栄村役場に入庁、スキー場開発室に配属され、営業や宣伝、スタッフ関係などスキー場運営の準備にあたられ、その後退職までスキー場一筋でした。

上倉…最初にスキー場開発に関わるまでの経過などお聞かせください。

保坂…栄村でのスキー場開発は現村長の宮川幹雄さんや小滝の樋口武夫さんが主導した森山構

想や大久保山構想などがあり、地元説明会や現地調査が行われました。私もスキークラブ員として関わってきましたが、費用面や地元理解など関係で具体的になりません

でした。その後平成6年2月にスキー場開発委員会から「貝立山スキー場構想」が提言されました。私は北信広域連合の派遣から帰ってきた平成6年4月からスキー場開発の担当となりました。

村山…私は若いころからスキーに関わる仕事をしており、平成7年までマントパーク津南に勤めていました。平成7年12月に村の人に呼ばれて、初めて高橋村長にお会いしました。村長は村内でのスキー場開発は村の若者たちの熱い思いがあり進めたいこと、冬になると雪空を見て暗くなる気持ちに前向きにしていけるには村にスキー場が欲しいことなどを熱く語っていました。また村の中心地へ観光客や人が集まるものが欲しいということも語っていました。

上倉…当時の記録を見ると役場車庫



平成6年3月スキークラブ員による  
貝立山現地調査

の2階にスキー場設計事務所ができたのが平成7年9月4日、翌平成8年4月に役場組織の中にスキー場開発室（係）ができ、保坂さんと村山さんが配属されています。それでその年の12月にスキー場オープンですから、かなり無理なスケジュールだと思いますが苦勞されたことは何ですか。

## 保坂

一番難儀したのは用地交渉ですね。毎晩地権者の家を回りました。いつも出掛けるのは皆さんが家に居る夜ですからもう晩酌をしているところに行く。世間話やスキー場開発への注文や不満などを聞きそれから交渉です。スキー場に反対という人は多くはありませんでしたが、先祖から受け継いできた農地への農家の人の思いの強さを感じました。私は農家でないのでその辺が最初は分からなかった。代替え地を求められ手配しても、実際耕作をするとは以前とは違うということを手直しを求められることも度々でした。長野や東京、千葉まで用地交渉に行きましたが、協力的な方が多くそこは助かりました。ただ都会と比べると地価が安く買収単価に首を傾げるケースが多々ありました。

## 村山

村長は後発のスキー場にどのくらい人が呼べるか気になっていたようです。大会の誘致、近隣スキー場での大会のサブグレンデとしての利用、修学旅行誘致、姉妹都市・友好都市への市民利用誘致、東京都町村共済への営業などそれまでの繋がりがなども活か

## 保坂

これだけの事業をやるには許可事務をはじめ、登記や収用法に伴う税控除等膨大な事務量でした。農振解除一つとってもこの短期間に進めるにはかなり無理があり、女性事務員を2名増員していただきました。工事が始まったのが平成8年4月でオープンが12月です。4月は雪が多く除雪をしながら工事を始めまし



オープン初年度のリーフレット

## 保坂

立木補償の契約をする前に伐採してしまい所有者とトラブルになり、村長室に呼ばれ強く叱責された記憶は今も鮮明に残っています。スキー場オープンの時も工事関係の仕事が続いていて、華々しいオープンイベントやマスコミ報道に違和感を覚えました。苦労話は尽きないようすが、反対に楽しかったことはありませんか。

## 村山

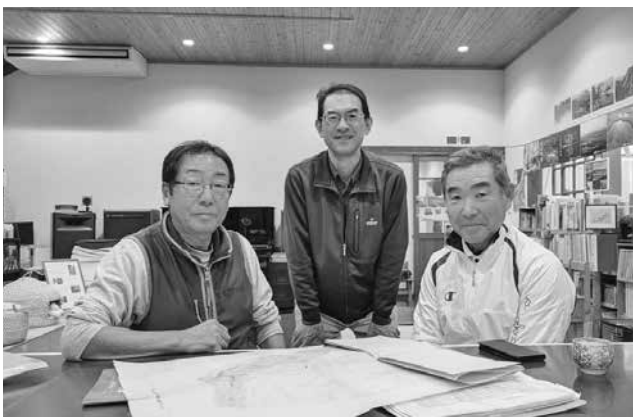
やれることは何でもやろうという事で各地に営業に行きました。知り合いからの紹介で九州まで営業に行き、熊本県の南関高校が修学旅行に來てくれることになりました。実際に高校生が栄村に到着し庁舎内で行われた歓迎式は感動しました。雪ん子まつりなどのイベントで大勢の村民が來てくれてスキー場が賑わっている時も嬉しかったですね。

## 上倉

苦労話は尽きないようすが、反対に楽しかったことはありませんか。

たくさんの方の思いが詰まってオープンしたさかえ倶楽部スキー場も30周年を迎えました。近年のスキー人口の減少、また村内の少子高齢化もあり、スキー場の運営は厳しい面もあります。しかし最近では非圧雪グレンデが人気で大雪の日は来場者が増えたり、近隣スキー場ではインバウンド客の増加などで賑わっています。30年前の状況とは変わってきています。これからさかえ倶楽部スキー場がどうなっていくのか。村民の夢が詰まった村民のスキー場です。スキーをやる人もやらない人も、さかえ倶楽部スキー場に出掛けてみませんか？

(文責…上倉館長)



左：保坂順一さん、右：村山俊郎さん



12  
31

12  
30

### 前年取り

松飾りをする（神棚は大きいしめ縄と鏡餅 玄関は大きいしめ縄と松の葉自作）  
だいじんご様・恵比寿様・歳神様・仏様・山の神・玄関などに飾った

### 年取り

夕飯（お昼ご飯はなく午後2時頃食べる）前に十二社と苗場神社にロウソク・お神酒をもつてお参りする

家長がだいじんご様・恵比寿様・釜神様・仏様・山の神等に灯をつけ火打ちをし、御神酒をあげる影膳と仏様の後ろの部屋の押し入れの前に2膳並べ、家族一人ひとりと神様にお膳をつけ、座敷で食べる

・菜（せえ又はさい・煮物 7品か5品か3品）ゴボウ、生揚げ、コンニャク、れんこん、昆布、車麩等自家製  
・なます 大根、人参、キクラゲ 胡麻をかける

1  
1

・吸い物 豆腐、花ふ  
・つば（煮豆） 黒豆など栗を上にあげた  
・魚 塩ます 清水屋で買った  
昆布巻き（中は鰯）、きんぴら、はりはり漬け、松前漬けも作った

家長が暗いうちに起きて風呂を沸かして入り、灯をつける  
朝の茶湯は杓子で水7杯、5杯、3杯をやかんに入れて沸かす  
朝飯 雑煮（大根、人参、ぜんまい、煮た鰯）  
親戚・やごもりなどの年始回り  
夕飯 31日と同様にお膳で食べる



（Mさん現役の火打石）

お膳には松の葉と栗を添えたり、30日～1日の3日間、毎日菜を煮た家もあったといえます。  
「子どもの頃。貧しかったのでお年玉はなかったがお正月のごつつおが楽しみだったな」「毎年家内安全を祈ってききました」と聴かせてくださいました。  
正月は旧年の締めくくりと感謝、そして新年を祝い抱負や健康・平穏を願う節目の日でもあります。心身を清めて行う様々な神様への感謝と祈り。縁起のよい数にこだわったおせち料理、神様膳や家にはいない人への影膳など。目に見える形で表し方と、目には見えない心と魂による表し方の双方が、今なお強く残っている小赤沢の様子を伺い、これから変わっていく中でも、神々や先祖、地域や家族への感謝と敬意、祝福できる喜び・楽しみを大切にしていききたいと思います。皆さまにも佳き一年となりますように。



# 野田沢区飯山線に乗る会



冬支度も一段落した11月23日(日)に、野田沢公民館では飯山線に乗る旅に行ってきました。昨年は野田沢区の有志で行いましたが、今年は野田沢公民館の行事となり15名が参加しました。



当日は横倉駅に集合して長野行きに乗りましたが、長野の恵比寿講と重なったためか思ったよりも乗客がいました。のんびりと飯山線を楽しみ三々五々に談笑しながら長野駅に着くとお昼前の時間です。お昼は阿部館長の学生の頃からのお知り合い、善光寺の宿坊常智院さんで精進料理をいただきました。ごぼうの蒲焼き風や胡麻豆腐、イチジクのゼリー、栗の素揚げしたものなど美味しいお料理をたくさんいただき、最後は手打ちそばも出て楽しいお昼でした。



午後は常智院さんより善光寺を案内していただきました。仁王門や山門はもとより御開帳に立てられた歴代の回向柱が並ぶ納所など普段はなかなか行かないところを回って興味深く拝見しました。参拝客が多くお戒壇巡りは断念しましたが、隅々までご案内いただき驚きの善光寺トリビアがたくさんありました。みなさんお土産も買って、帰りの飯山線はゆったりと帰ってきました。

こんな日帰りの小さな旅でも楽しく過ごせるのは素敵ですね。飯山線の利用者が少なくなり赤字路線に名前が挙がることもしばしばです。「乗って残そう飯山線」とはよく言われます。みなさまも飯山線の末永い存続を願いこんな旅はいいかがでしょうか。

## 秋山地区交流会

## 「一 再 合 祭」を開催しました！

11月9日(日)に秋山地区の若者が主体となり、「一 再 合 祭」というお祭りが秋山分校で開催されました。そば打ち体験やコースター作り、チェーンソーの目立てとたくさんのプログラムが組まれた行事でした。

この日はあいにくの雨で参加者が少ない心配もあったようですが、秋山地区全域から約35人が集まり楽しんでいただきました。私も参加し、そば打ちをさせていただきました。最後にはみんなで打ったそばとわけしょ特製の豚汁とイワナの塩焼きを食べて交流を深めました。(相澤)



チェーンソーの目立て



コースター作り



あーそんなことがあったんか  
〜ど先生の栄村昔語り〜 其の七十二

## 尋常小学校の正月



地域史料保全有志の会  
鈴木 努 (通称：ど先生)  
イラスト作成：佐藤洋平

新年になりました。やや温暖な秋だったのが、師走に入る頃から「今日から冬だ」と言わんばかりに急な寒気がやってきました。お変わりなくお過ごしでしょうか。米騒動や相次ぐ地震、大阪万博、それから初の女性首相誕生など、昨年は盛り沢山の一年でした。今年はどうなりますか。

いま時分は正月休み、小学校は冬休みの最中ですが、小学校がかって尋常小学校と呼ばれていた頃は、正月元日は学校儀式の式日に当り、学童たちは学校に登校し儀式に参列していました。今は見られない正月の風景として、この正月の儀式を紹介しようと思います。

戦前の小学校には文部省令で定めた「祝日大祭日」があり、式日には儀式を行うことになっていました。紀元節、天長節などにならび、一月一日もその中に入っていました。これを「三大節」といい、大正期以後は明治節を加えて「四代節」となります。現在の学校でも入学式・卒業式などの学校生活の有意義な変化や折り目をつける「儀式的行事」があり、学習指導要領に基づく正規の教育課程ですが、戦後教育が実施される以前の「学校儀式」は、国家の必要による「教化」として行われたものでした。どのような儀式だったか、栄村に残る明治時代の学校日誌を見てみましょう。

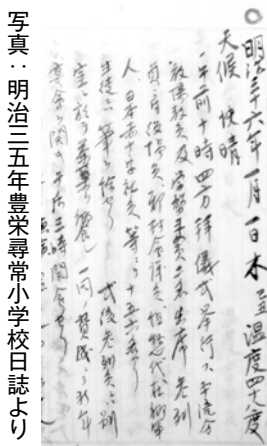
明治三十六年一月一日木乙丑 温度四十八度(華氏。摂氏九度にあたる) 天候 快晴  
一、午前十時四方拝儀式挙行ス、平滝分教場教員及学務委員二名出席、参列員ニ付役場員、郡村会議員、組惣代、在郷軍人、日本赤十字社員等ニテ十五六名アリ  
生徒ニハ筆ヲ給セリ 式後参列員ニハ別室ニ於テ茶菓ヲ饗シ一堂ノ賛成ニテ新年宴会ヲ開キ午后三時開会セリ  
〔明治三十五年度 豊栄尋常小学校 日誌〕

四方拝は毎年元旦の早朝に天皇が天地四方の神祇と先帝の山陵を拝礼し年災消滅・五穀豊穡を祈る宮中祭祀です。天皇親拝、つまり天皇だけが行う儀式なので、学校で学童たちが四方を拝礼することはありません。文部省の規程でも「一月一日」が正式な呼び方ですが、四方拝と言わすことが多いようです。白鳥にあった豊栄尋常小学校に平滝分教場教員と学務委員(住民から選任)が関係者として出席、ほかに役場の吏員、議員、白鳥組惣代など一五・六人が参列しました。分教場の生徒も出席したかどうかは不明ですが、教員が出席しているのおそらく来ていたと思います。儀式の内容は書いていませんが、当時の規程に準じて万歳奉祝(当時はまだ御真影が下賜されていなかったようです)、式歌合唱で閉会、出席した生徒は松月印の筆(大正頃には蜜柑)を貰って帰宅し、参列者は新年の宴会に流れていきました。

明治五年(一八七二)の学制頒布の当初から各学校で開校式(開講式)・新年祝賀式・卒業式(卒業試験日を兼ねる)といった学校儀式が行われましたが、国家の関与するものではありませんでした。その後、明治政府は天皇を元首とする立憲君主制設立を目指す上で、学校儀式を「教化」の場とする方針を採ります。初代文部大臣となつた森有礼は国家の「祝日」に学校儀式の実施を内訓として発令しますが、式日は天長節(当代の天皇誕生日)・紀元節と一月一日のみで国家神道関係の「祭日」は外し、儀式も唱歌を中心とするものでした。憲法発布(明治二二)の翌年に教育勅語が頒布される(明治二三年一〇月三〇日)と、各学

校は式日を定め教育勅語拝読式を行うよう政府から指示が出されます(同日付け・芳川顕正文相の訓示)。そして従来の「祝日」に神嘗祭など国家神道的な「祭日」が組み込まれ年間一〇日の「祝日大祭日」となり、また教化の効果を高めるため式日にふさわしい式歌もあわせて令達されます。その後いくつかの改正を経て、御真影拝礼や勅語奉読、式歌合唱など儀式的形式が整い、戦後教育が始まるまで続けられてきました。

この儀式の体系のなかで、「一月一日」は、祝祭日を定めた当時の規程で別の条文が立てられ、他の式日にある勅語奉読や校長・参列者の誨告・演説を略した簡単な構成など異質性を持っています。これは「一月一日」が手習塾や藩校・私塾時代の正月行事に淵源があるため、と言われていきます。手習いの上達や学問の精進を誓い、会食や飲食の振る舞い、贈答を行った近代以前の仕来りの影響があるそうで、生徒への茶菓などの給与が規程にも取り入れられました。「一月一日」の異質性は人々の祝日でもあったことに拠るのでしよう。なお祝祭日唱歌のなかで「一月一日」の式歌だけが役割を終えた戦後も歌い継がれています。



写真：明治三十五年豊栄尋常小学校日誌より



# 栄村公民館 図書室だより

..... 2026.1 .....

あけましておめでとうございます。今年は十干の「丙（ひのえ）」と十二支の「午（うま）」が組み合わさった「丙午（ひのえ・うま）」です。

丙は十干の3番目で「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。

また午は、古くから人間とともに生きてきた動物。俊足を持ち、独立心が高く、人を助けてくれる存在でもあります。

そのため丙午の年は、「強いエネルギーに満ちて、活発になる」年になると考えられているそうですよ。

## 新着図書の紹介

忍ぶ川（三浦哲郎）／歌集ふゆすげ（美智子）／天までのぼれ（中脇初枝）  
 SNS時代のメディアリテラシー（湯浅景元）／お年よりと絵本を開く（中村征子）  
 神社のどうぶつ図鑑（茂木貞純）／さよならドビュッシー（中山七里）  
 日本100名城公式ガイドブック（日本城郭教会）／パズルと天気（伊坂幸太郎）  
 僕には鳥の言葉がわかる（鈴木俊貴）／マスカレードライフ（東野圭吾）  
 本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む（かまどみくのしん）／大日の使徒（川越宗一）  
 ほどなく、お別れです（長月天音）／ほどなく、お別れです それぞれの灯火（長月天音）  
 ほどなく、お別れです 思い出の箱（長月天音）  
 僕の仕事はごみ清掃員（滝沢修一）  
 200字からの伝わる文章料理法（真田正明）  
 作って楽しむ信州の漬物（横山タカ子）

### 【えほん】

おいしいじいさん（作・尾崎玄一郎 尾崎由紀菜）  
 てぶ〜くろ（作・ガタロー☆マン）  
 星につたえて（文・安東みきえ 絵・吉田尚令）  
 戦争をやめた人たち-1914年のクリスマス休戦（鈴木まもる）  
 秋（かこさとし）  
 へいわってすてきだね（詩・安里有生 画・長谷川義史）



## 村内移動図書

西部・豊栄・水内	秋山・東部
1/15(木)	1/16(金)
1/29(木)	1/30(金)
2/12(木)	2/13(金)
2/26(木)	2/27(金)

冬期間村内移動図書は12月から巡回を行っています。  
 たくさんの本を積んで、皆さんの集落にお邪魔しますので  
 栄村ならではの『読書の冬』をお楽しみください。

### ★栄村図書室開放時間★

平 日 午前8時半～午後5時  
 土・日 午前9時～正午  
 ※祝日は休館します

### ★休館日のお知らせ★

1月1日(木)～4日(日)、10日(土)～  
 12日(月)、2月11日(水)、21日(土)～  
 23日(月)



島田 遥さん（青倉）

毎年、雪が降る前に我が家では大根つぐらを作って大根を保存しています。以前、近所の方数名と一緒に大根つぐらの作り方を知り合いの方から教わり、作った大根つぐらを使って大根を保存してみたところ凍みることなく一冬を越して食べることができたのに驚きました。雪が多く、藁が身近にある栄村ならではの理にかなった昔からの越冬野菜の保存方法にとても感心しました。その翌年から毎年、自分でも作り方を思い出しながら大根つぐらを作るようになりました。これからも毎年、大根つぐら作りをしながら栄村らしい暮らしを自分のペースで楽しみ、続けていきたいです。



## おおきな～れ



パパみたいな  
お仕事をしたい！

愛奈さん（3歳）

元気でたくましく明るい子に育ってほしいです！

村山智哉さん、由夏さん宅（横倉）

## ようこそ！栄村へ！！



梶谷和男さん 佳世さん

### ・栄村にきたきっかけはなんですか？

広島県で歯医者さんの仕事をしていて退職したが、もう少しこの仕事をしたいと思いどこか求人を募集していないか探していました。妻が松本市出身で私も松本歯科大学を卒業したので、長野県に絞って探したところ、栄村が募集していたので移住して務めようと思いました。

### ・栄村での生活は？

昨年は雪が多かったので除雪が辛かったです。周りの住民からは昨年の雪を経験してれば大丈夫と言われたので、いい刺激になったかなと思います。

趣味でスキーをしています。さかえ倶楽部スキー場が近くてまたシーズン券が安く驚きました。

### ・これからスキーシーズンです！

今年もさかえ倶楽部スキー場のシーズン券を買って、すぐにでも滑れる準備をしたいと思います。

## 公民館映画会 日時を変更します！

毎月10日に開催しています公民館映画会にご来場いただきありがとうございます。

雪の心配もあるため、1月から日時を変更して映画を上映します。

みなさんお誘い合わせの上、栄村文化会館かたくりホールまでお越しください。

- 1月 10日(土) 14時～  
「おだやかな革命」(2018年 100分)
- 2月 14日(土) 14時～  
「戦火のランナー」(2019年 88分)
- 3月 未定 ※チラシにてお知らせします。  
「HUG 抱く」(2014年 69分)

## ねこつぐら 作ってみませんか？

～ねこつぐら教室  
ご自由にご参加ください～

栄村つぐら振興会が下記日程でねこつぐら教室を開催します。

- 日にち 1月18日(日)・25日(日)、2月8日(日)・15日(日)、3月8日(日)・15日(日)  
※大雪で中止になる場合あり
- 時 間 10時から12時まで  
お時間のある方はそのあと13時～15時まで作っていただいて結構です。  
昼食は各自持参をお願いします。
- 場 所 栄村公民館 こらっせ
- 申込先・問い合わせ先 栄村公民館 ☎87-2100

みんな  
来てね！



栄村つぐら振興会  
マスコット  
キャラクター  
(1月末にお名前  
を発表します)

## 新年あけまして おめでとうございます

公民館報編集委員より皆様の  
ご健康とご多幸をお祈りいたします

昨年は公民館報の取材や編集活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。本年もより良い公民館報を作り皆さんが読んで楽しんでいただけるよう、編集委員一同取り組んでいきたいと思っておりますので、これからも引き続きよろしくお祈りいたします。皆さんにとって笑顔の多い一年になりますよう、心より願っています。

### 編集後記

あけましておめでとうございます。  
今年は1月中旬までは暖冬との予報ですが、さてどうなるでしょうか？これを書いているのは12月ですが、スキー場は雪が無くオープンが延期になっています。私もシーズン、スキー場に勤務しましたが、年末年始に雪があるかどうかは、団体予約なども入っていてやきもきしたことを思い出します。今回の館報ではスキー場開発に関わったお二人から、当時の苦労やスキー場に掛けた思いをお聞きしました。紙面の都合上、書ききれなかったこともたくさんあります。これだけ大きな事業を実施するには村民の熱い思いとトップの決断、そこに関わる職員の苦労が必要だったことがよくわかりました。この館報が配られる頃、スキー場は賑わっているでしょう。

## 今月の一句 ～栄村俳句会～

- |  |                          |                          |   |                                     |   |
|--|--------------------------|--------------------------|---|-------------------------------------|---|
| 夜明け前ふと上げれば冬三日月<br>節料理全て手作り村の良き<br>杉浦恵子 | スキー場オープンせず田んぼスキー<br>杉浦咲衣 | スキー場溶けては積もりまた溶けて<br>杉浦 仁 | 早朝の除雪の音に手を合わせ<br>おごそかに昇る初日や苗場山<br>山田くにえ | 底冷えの仏間に高き輪の音<br>初御空平和を願ひ合掌す<br>柳 静江 | 一人居の友とも言える冬のバラ<br>庁舎より見下ろす道路年の暮<br>関谷貞子 |
|--|--------------------------|--------------------------|---|-------------------------------------|---|

俳句の会への参加や俳句の投稿募集しています！  
ご興味がある方は栄村公民館（☎87-3118）までお電話ください。